



山口情報芸術センター「ビッグウェーブやまぐち」  
プレスリリース

## 11月公演のお知らせ

山口情報芸術センターでは、開館まで残すところいよいよ2ヶ月となり、スタッフ一同、準備に追われる毎日です。

つきましては、11月に行われます公演について、プレスリリースをお送りします。ダンスあり、演劇あり、スライド・ショーありの多彩なラインナップです。世界的に注目を集めている作品や人気の高い演目などがそろっております。是非ご期待下さい。

また、チケット販売も始まりますが、日程と料金につきましては各公演ごとに載せさせていただきます。共通のチケットに関する情報は下記の通りになっております。

どうぞよろしくお願いたします。

### チケット発売案内

チケット予約:YCAMチケットカウンター TEL:083-920-6111

(11月1日までは、9:00～17:00土日祝日を除く・

11月以降は、10:00～19:00休館日を除く)

ローソンチケット TEL:0570-06-3006

A席割引は、エニー会員、青少年(18歳未満)、シニア(65歳以上)、障害者及び同行の介護者1名が対象。

山口情報芸術センター、山口市民会館、山口南総合センターのみの販売となります。エニー会員証、年齢の分かるもの、障害者手帳等をご呈示ください。

チケットは特記以外はいずれも全席指定、税込価格。

特記以外は未就学児童のご入場をお断りさせていただきます。

### お問い合わせ先

山口情報芸術センター

〒753-0075 山口市中園町 7-7

TEL:083-901-2222 FAX: 083-901-2216

e-mail: info@ycam.jp <http://www.ycam.jp/>

\*各公演の出演者への取材申し込み、お問い合わせはこちらまで

山口情報芸術センター(担当:小滝)

〒753-0075 山口市中園町 7-7

TEL:083-901-2222 FAX: 083-901-2216

e-mail: yumicota@ycam.jp





山口情報芸術センター「ビッグウェーブやまぐち」  
プレスリリース 11月公演のお知らせ

## 開館記念事業

フランス・ダンス・03 参加

# 「フィリップ・ドゥクフレ 国際共同製作 新作公演」

日時：2003年11月1日(土) 2日(日) 3日(月祝)  
各16:00開演

会場：スタジオA

料金：A席4,000円 A席割引3,000円 B席2,000円

チケット情報：プレイガイド発売:9月1日(月)~  
ローソンチケットLコード:62562  
エニー会員先行:8月25日(金)~

演出・構成・振付：フィリップ・ドゥクフレ

演奏：ディ・テルズィ、タオ・フィエンフェン、他

衣装デザイン：ひびのこづえ

照明デザイン：足立恒

セットデザイン：

鯨丸邦生、ピエール＝ジャン・ヴェルブラーケン

出演：伊藤千枝、小浜正寛、伊藤郁女、キム・ミヤ、ステファン・シヴォ、ジャン・パティスト、クリストフ・ワックスマン、オリヴィエ・シモラ、中国からのダンサー、京劇俳優 他

主催：財団法人山口市文化振興財団

共催：国際交流基金、財団法人神奈川芸術文化財団、カンパニーD.C.A.、シャトーバロン国立振付センター、シャイヨー劇場、モンペリエ国際ダンス・フェスティバル、フォーラム・デザール・バルセロナ

制作：山口情報芸術センター

ドゥクフレの名前を知らなくても、1992年フランスアルベルビル冬季オリンピックの開／閉会式の映像、空中を舞うダンサーや巨大な竹馬やモビールに吊されたミュージシャンなど色鮮やかな衣装を身にまとった1500人が繰り広げた幻想的で奇想天外なダンスを覚えている方は多いと思います。

若干30歳でその演出・振付を担当し世界中の眼をテレビに釘付けにしたフィリップ・ドゥクフレは、欧州で最も人気のある振付家として自らのダンスカンパニーを率いて「トリトン」「シャザム！」などの作品で日本を始め世界中を公演をするとともに、カンヌ映画祭50周年のセレモニー映像や映画、コマーシャルなど数々の映像作品も手がけています。

今回、日本で新作を制作するに当たり、「アジアと西洋の文化の新たな出会いに加え、生身の身体の動きにさまざまにデジタル処理した映像と照明をインタラクティブ(双方向的)に交錯させ、さらなる未知で不思議な世界に入ってみたい」と語り、山口情報芸術センターの持つ最新機能を創造の中心に据え、8月11日より約2ヶ月間、日仏中のダンサーやスタッフ約35名とともに山口に滞在して創作稽古することになりました。どのような作品がこの山口から生み出されるのか、世界中の注目を集めています。この新作は、11月下旬からパリで1ヶ月のロングラン公演、2004年には欧州ツアーが行われますが、日本ではなんと横浜と山口のみの公演となります。

## フランス・ダンス・03について

2003年10月から約2ヶ月間、日本各地を結び開催される、これまで前例のない大規模なフランス・コンテンポラリー・ダンスのフェスティバル。世界のダンス界を代表する作家達や今パリで注目を浴びる気鋭のアーティストによる現在提供できる最高の作品が紹介されます。ダンスの現在形を一望すると同時に、今私たちが生きる時代の現実を感じ、考えさせる、またとないフェスティバルです。  
<http://www.francedanse03.jp/index.html>



山口情報芸術センター「ビッグウェーブやまぐち」  
プレスリリース 11月公演のお知らせ

## 二兎社 「萩家の三姉妹」

日時：2003年11月12日(水) 19:00開演  
11月13日(木) 13:30開演

会場：スタジオA

料金：A席3,500円 A席割引2,500円 B席1,500円

チケット情報：プレイガイド発売 / 8月29日(金) ~  
ローソンチケットLコード:62351  
エニー会員先行予約 / 8月22日(金) ~

作・演出：永井愛

出演：渡辺えり子、南谷朝子、岡本易代、片岡弘貴、  
大鷹明良、他

13日公演終了後、出演者によるアフタートークをおこないま  
す。ご来場の方はそのままご覧いただけます。

主催：財団法人山口市文化振興財団

制作：山口情報芸術センター

### 永井愛

劇作家、演出家。二兎社主宰。桐朋学園大学短期大学部演劇専攻科卒。  
「言葉」や「習慣」、「ジェンダー」、「家族」、「町」など、身近や意識  
下に潜む問題をすくい上げ、観客自身に「考える」材料を提供する新し  
いタイプのウェルメイドプレイを開拓。現実の生活に直結したライブ  
感覚あふれる喜劇を目指しています。また、「女性へのこだわり」を  
キーワードに、日本の近・現代史の中の女性像を演劇的に検証するこ  
とをテーマとした劇作を続けています。

### 二兎社

1981年、大石静と永井愛の二人が設立し、それぞれのオリジナル作品  
を交互に上演する形でスタート。『カズオ』などの「早替わり二人芝  
居」で人気を博しましたが、大石の退団した1991年以降は、永井の作・  
演出作品をプロデュースする演劇ユニットとして活動を続けています。

二兎社の新機軸となった「戦後生活史劇三部作」は、敗戦直後や高  
度成長期、安保闘争末期などの転換期に、時代に翻弄されるよういて  
実はしたたか、根っこの部分はそう簡単には変わらない庶民の姿を等  
身大に描き、「日本人」を舞台の上で再発見して高く評価されました。

県庁のある地方都市 N市の旧家、萩家が舞台。

長女は大学の助教授

不倫におけるフェミニズムに悩んでいた

次女は専業主婦

夫とはうまくいってるはずだった

三女はパラサイト・シングル

カレシがたびたび変わった

地方都市の三姉妹が織りなす 女と男の“今”

ありそうでなかった異色の喜劇、永井愛の大胆な挑戦!!

『萩家の三姉妹』が下敷きになっているのは、ロシアの文豪チ  
ェーホフの名作『三人姉妹』。チェーホフの三人姉妹はそれぞ  
れ人生の難問や危機に直面して、恋愛や仕事にその解決の道を  
求めます。

永井愛はそれを現代日本の女性の視点からまったく新しく  
作り変えました。萩家の三姉妹が直面するのは、ひとことで言  
えば「フェミニズム」に関わる諸問題。現在の日本社会にある  
男女の性的な役割 (=ジェンダー) の違いや社会的な地位の差  
が引き起こすいろいろな矛盾や問題に三姉妹は出会い、それぞ  
れのやり方、考え方で、恋と仕事に理想的な生き方を発見しよう  
とします。

「恋愛」というプライベートな現場は、男女の利害がもつれ  
あう、熾烈な戦いの場でもあります。本作品は「恋愛」という  
問題に振り回される男女の姿を見据え、バラバラに混迷する男  
女の意識に焦点を当て、それを脱構築する(!?)喜劇、「ありそう  
でなかった」異色の試みです。

2000年9月に世田谷パブリックシアターとの提携公演として  
初演された際は、各方面から高い評価を受け、紀伊國屋演劇賞  
団体賞・読売演劇大賞優秀作品賞・優秀演出家賞・読売文学  
賞を受賞しました。

今回の再演にあたっては、長女の大学助教授役として、テレ  
ビ、映画での活躍もめざましい渡辺えり子が二兎社に初参加し  
ます。ますますパワーアップした、一癖も二癖もあるラブ・スト  
ーリーにご期待ください。



山口情報芸術センター「ビッグウェーブやまぐち」  
プレスリリース 11月公演のお知らせ

## フランス・ダンス・03 参加 「ヘリコプター」春の祭典」

日時：2003年11月18日(火) 19:00開演

会場：スタジオA

料金：A席4,000円 A席割引3,000円 B席2,000円

チケット情報：プレイガイド発売 / 9月12日(金)～  
ローソンチケットLコード:62563  
エニー会員先行 / 9月5日(金)～

公演終了後、メンバーによるアフタートークをおこないます。  
ご来場の方はそのままご覧いただけます。

主催：財団法人山口市文化振興財団

制作：山口情報芸術センター

### 「ヘリコプター」

公演時間：35分

振付：アンジュラン・プレルジョカ・ジュ

音楽：カールハインツ・シュトックハウゼン作曲  
「ヘリコプター・カルテット」

演奏：アルディッティ・カルテット

ビデオ美術：ホルガー・フォルテラー

照明：パトリック・リウ

衣裳：シルヴィ・メイニエル

出演：バレエ・プレルジョカ・ジュ

エクサンプロバンス国立振付センター

### 「春の祭典」

公演時間：40分

振付：アンジュラン・プレルジョカ・ジュ

音楽：イゴールストラヴィンスキー

演奏：ダニエル・バレンボイム指揮 シカゴ交響楽団

美術：ティエリー・ルブルースト

照明：マリオン・ヒューレット

衣裳：エリック・ベルジェ・ル

出演：バレエ・プレルジョカ・ジュ

エクサンプロバンス国立振付センター

### フランス・ダンス・03について

2003年10月から約2ヶ月間、日本各地を結び開催される、これまで前例のない大規模なフランス・コンテンポラリー・ダンスのフェスティバル。世界のダンス界を代表する作家達や今パリで注目を浴びる気鋭のアーティストによる現在提供できる最高の作品が紹介されます。ダンスの現在形を一望すると同時に、今私たちが生きる時代の現実を感じ、考えさせる、またとないフェスティバルです。  
<http://www.francedanse03.jp/index.html>

シュトックハウゼン作曲「ヘリコプター弦楽四重奏曲」の強烈な機械的リズム、ストラヴィンスキー作曲の古典的名曲「春の祭典」の野蛮な原始的リズム、圧倒的な強度と完成度を持つ二つの楽曲に、異オブレルジョカ・ジュが、異なるアプローチで挑んだ、2作品同時上演プログラム。

「ヘリコプター」では、ダンスと音楽のぎりぎりの緊張関係を、ダンサーの身体にインタラクティブに反応して、舞台床面で旋回するヘリコプターのCG映像とともに、スリリングに描き出す。一方、「春の祭典」では、この儀式で我々に生を授ける集団の行為と、原初の欲望につき動かされ、力尽きるまで踊り続ける身体を熱狂的な力でスペクタクルに描いている。

演劇、音楽、バレエ、もちろんダンスファン必見のプログラム。新国立劇場、びわ湖ホールに続き、中四国九州地区独占公演。

### アンジュラン・プレルジョカ・ジュ

1957年生まれ。80年代にニューヨークに渡り、マース・カニングハガムのもとで学ぶ。帰国後、1982年にドミニク・バグエのカンパニーに入団。1984年に自身のカンパニー・プレルジョカ・ジュを設立。1985年「MERCHE NOIR(闇取引)」によりパニョレ振付コンクール文化大臣賞受賞。

時代を先取り、バレエのレパートリー作品としてコンテンポラリー・ダンスの重要性に着目。1990年リヨン・オペラ座バレエに「ロミオとジュリエット」、1994年パリ・オペラ座に「LE PARC(公園)」を振付ける。1995年カンパニーをバレエ・プレルジョカ・ジュと改名。彼の音楽的、抽象的な振付けスタイルと、過去の遺産を一切拒まず、バレエの歴史に自らのダンスを刻む活動で、コンテンポラリー・ダンス界のみならず、世界のバレエ団から注目される振付家である。

1991年「Liqueurs de Chai(肉体のリキュール)」、1993年「NOCES(婚礼)」、1998年「パレード」、「薔薇の精」に続き、5年振りの来日公演。



山口情報芸術センター「ビッグウェーブやまぐち」  
プレスリリース 11月公演のお知らせ

マルチメディア・ドキュメンタリー上映

## 「ハート・オブ・ジャーニー」 The Heart of the Journey

日時：11月21日(金)～24日(祝)（開演時間未定）

会場：スタジオA

料金：一般(当日のみ) 500円

エニー会員 招待(当日会員証を提示ください)

作・撮影：金森マユ

出演：ルーシー・ダン、金森マユ

「ハート・オブ・ジャーニー」は、350枚以上のスライドと、インタビューや音楽が一体となった、マルチメディアのサウンド・スライドショーです。

ルーシー・ダンは、西オーストラリア州の港町、ブルームに生まれました。彼女はオーストラリア先住民族であるアボリジニの両親を持ち、自身もアボリジニとして育ちました。ところがルーシーが20代の時、父親が亡くなります。父親は死の床でルーシーに、自分はおまえの父ではない、本当の父親は、日本人だ、と伝えます。ルーシーは母親を問いつめ、本当の父親はルーシーが生まれると間もなく日本に帰ったこと、でもルーシーを愛し、赤ん坊のルーシーを抱いて可愛がったことを聞き出します。

ドキュメンタリー・フォトグラファーの金森マユは、オーストラリアでの日本人の足跡を追い続ける中、日本人真珠ダイバーの歴史を探し求めてブルームに向かいます。そこで彼女はルーシーに出会い、日本人とアボリジニとの間の子供達の存在に強く興味を持ちます。次第に友情を深めそしてついにルーシーの父親探しとルーツを求めて日本への旅に同行することになります。

「ハート・オブ・ジャーニー」は、多民族社会のアボリジニの個人的な和解を描いた実話です。金森マユの写真と、そしてルーシーの心の言葉と彼女のルーツ探しの夢をかなえてくれた多くの人たちとの思いがひとつにまとまりました。家族、友情、仲裁、そして自己探究という世界共通のテーマのもと、オーストラリアのブルーム、東京、太地を舞台に撮影と録音が行われました。解説付きのサウンド・スライドショーは、約60分、350枚以上の画像により、ブルームから始まって日本への旅、そして再びブルームに戻ってルーシーの物語が描かれています。



山口情報芸術センター「ビッグウェーブやまぐち」  
プレスリリース 11月公演のお知らせ

## イッセー尾形スペシャル in 山口

日時：2003年11月28日(金) 19:00開演  
29日(土) 14:00開演

会場：スタジオA

料金：A席3,500円 A席割引3,000円 B席2,500円

チケット情報：プレイガイド発売 / 9月17日(水)～  
ローソンチケットLコード:62565  
エニー会員先行 / 9月10日(水)～

演出：森田雄三

出演：イッセー尾形

主催：財団法人山口市文化振興財団

制作：山口情報芸術センター

テレビ等でお馴染みのイッセー尾形によるひとり芝居。色々な職業の様々な人物を演じ分け、シリーズ初演から20年以上、今でも年間100ステージをこなし、各地でチケット売り切れ続出の超人気公演。広島や福岡まで足を運ばれた皆さま、お待たせしました。満を持しての山口初登場、しかもこれまでのネタから選りすぐったベスト版公演です。

イッセー尾形

1952年福岡県生まれ、東京育ち。

75年自作自演の演劇活動を開始。81年日本テレビ「お笑いスター誕生」にて金賞を受賞。演出家森田雄三と組んだ一人芝居舞台を続け、独自の人間観察と人物描写により、高い評価を得る。92年より地方公演をスタート。以降年間120ステージをこなす。93年NYにて初の海外公演、その後世界各地で海外公演をおこなう。あわせて、映画やCM、テレビと多方面に活躍。昭和59年度文化庁芸術選推文部大臣新人賞、大衆芸術部門受賞、第21回紀ノ国屋演劇賞受賞、放送批評ギャラクシー奨励賞受賞、「都市生活カタログ」で、ゴールデンアロー賞演劇芸術賞受賞など受賞多数。

小説や独特のイラストも手がけ、著書に『いつか、スパゲティ』（新潮社・1999）、『とりあえずの愛』（朝日新聞社・2001）、『月の砂』（徳間書房)など。公演を収録したビデオも多数発売。